

## 附表

『満蒙』掲載「華中・華南」関係記事一覧  
(1920年9月～1931年9月)

## 【凡例】

- 1) 『満蒙』誌の華中・華南に関わる叙述がある記事のタイトルと筆者名を収録した。但し「重要日誌」, 「支那大官任免」, 「支那重要法令一覧」, 「索引」, 「寄贈雑誌」, 「新刊紹介」, 「会員人名録」, 「編輯後記」, 「支那街風景」などの普通名詞的タイトルや項目名は省略した。なお、本文との関連から、項目名であるが「満蒙彙報」と「支那彙報」には、タイトル行頭にそれぞれ「\*」（「満蒙彙報」を指す）と「\*」（「支那彙報」を指す）を付し、当該記事であることを示した。
- 2) 通巻冊数は、底本（復刻版）の記載に依った。原典が別冊もしくはパンフレットも通巻冊数に数えているため、第4巻第1号（通巻第29冊）と第4巻第2号（通巻第31冊）のように、通巻冊数が飛んでいるように見える箇所がある。
- 3) 巻号表記は、参照の利便性を勘案して、底本（復刻版）に採録された原典の巻号表記を記載している。なお原典の巻号表記の形式は、「第〇年 [〇：刊行からの年数] □冊数 [□：通巻冊数]」となっており、通巻第43冊からは「第〇年第△号 [△：刊行月] 通巻□冊」となっている。
- 4) 底本には『復刻版 満蒙（全121巻+別冊1）』（東京：不二出版，1993-2003年）を使用した。
- 5) 漢字表記は、原則、常用漢字を使用した。

第1巻第3号（通巻第3冊）  
1920年11月1日  
満洲製粉業の近情（三箇功）

第1巻第4号（通巻第4冊）  
1920年12月1日  
\*バンルヴェー氏の文化的所得  
\*上海上半期貿易

第2巻第1号（通巻第5冊）  
1921年1月1日  
支那古代の民族性を論ず（上）（八木獎三郎）  
鶏に関する支那人の迷信 星武雄  
\*内政外交：福州事件解決  
\*金融貿易：銀相場暴落

\*雑録：上海に於ける英商連合会議

第2巻第2号（通巻第6冊）  
1921年2月1日

支那古代の民族性を論ず（承前）（八木獎三郎）  
清朝秘史順治帝と董小宛（永尾龍造）  
書籍談片（松崎鶴雄）  
\*財政金融：支那財政の危機

第2巻第3号（通巻第7冊）  
1921年3月1日

上海に於ける在支日本人商業会議所連合議案  
\*交通運輸：粵漢鉄道罷業拡大  
\*交通運輸：北京上海間航空計画

- \*交通運輸：上海無線電信本局設立
- \*財政金融：大正九年度支那海関収入
- \*産業貿易：日支親善の新傾向

第2巻第4号（通巻第8冊）

1921年4月1日

- \*内政外交：支那選挙は事実上無期延期
- \*財政金融：上海造幣廠借款
- \*産業貿易：在支米人商議連合会
- \*雑録：上海の極東オリンピック大会

第2巻第5号（通巻第9冊）

1921年5月1日

- 支那土俗習慣の研究（二）（永尾龍造）
- \*財政金融：関税剰余公布決定
- \*産業貿易：支那貿易半減
- \*産業貿易：上海生絲検査所設立

第2巻第6号（通巻第10冊）

1921年6月1日

- 黄麻、麻袋、麻布産地事情及満洲に於ける  
麻袋需給（伊達正男）
- 支那土俗習慣の研究（三）（永尾龍造）
- \*内政外交：広東政府大総統選挙
- \*財政金融：上海両金取建引開始
- \*財政金融：哈市外国紙幣禁止
- \*産業貿易：上海支那人綿布取引所成立

第2巻第7号（通巻第11冊）

1921年7月1日

- 浦塩の港湾設備と交通機関
- 黄麻、麻袋、麻布産地事情及満洲に於ける  
麻袋需給（承前）（伊達正男）
- 昌徳宮と武英殿の古陶瓷器（小森忍）
- \*内政外交：孫文氏の大総統就任
- \*内政外交：上海の日米水兵衝突
- \*財政金融：国際銀行団計画
- \*運輸交通：日支連絡会議
- \*雑録：支那に国際交易場

第3巻第4号（通巻第12冊）

1921年8月1日

- 日満貿易と日本関税問題（満鉄総務部調査課）
- 最近の洮南経済状態（承前）（村田熊三）
- 支那土俗習慣の研究（四）（永尾龍三）
- 連省自治問題と盧永祥
- 湖北の兵変
- \*財政金融：吉会鉄道借款頓挫
- \*運輸交通：欧洲向同盟運賃引上

第2巻第9号（通巻第13冊）

1921年9月1日

- 両広の戦況（満鉄調査課）
- \*交通運輸：北京濟南郵便飛行
- \*産業貿易：在支各国商社数
- \*財政金融：香上銀行の満洲発展
- \*財政金融：安東鮮銀支店銀為替開始
- \*財政金融：満鉄社債発行
- \*財政金融：独亜銀行再興
- \*財政金融：支那最近借款一束

第2巻第10号（通巻第14冊）

1921年10月1日

- 日支人共同生活と満蒙文化開発案の提唱（飯河道雄）
- 厦門旭瀛書院
- 支那土俗習慣研究（五）（永尾龍造）
- 南北対峙の原因と其経過：武昌連防会議と南北和議問題
- 南北対峙の原因と其経過：和議の決裂と王占元の没落
- 南北対峙の原因と其経過：呉佩孚と両湖
- \*交通運輸：上海汽船活躍

第2巻第11号（通巻第15冊）

1921年11月1日

- 仏領印度関税問題と関東州の活用（野波静雄）
- 支那の結繩と数字の根源（上）（八木柴三郎）

支那土俗慣習研究（六）（永尾龍造）

廬山国是会議（満鉄調査課）

\*政治外交：奉天会議招集

\*財政金融：広東市政対米借款

\*産業貿易：全支商議大会

\*雑録：日満連絡大飛行決行

\*雑録：日華実業協会文化施設

\*雑録：留日学費問題

\*雑録：全国中学校長会議の開催

第2巻第12号（通巻第16冊）

1921年12月1日

満洲天然藍の研究（佐藤新次郎）

\*交通運輸：米支無電契約著々進行

\*財政金融：留日支那学生借款成立

\*財政金融：電話借款替確定

\*産業貿易：上海に於ける投機機関の濫興

\*雑録：上海港改造国際委員

第3巻第1号（通巻第17冊）

1922年1月1日

支那に於ける列国の鉄道勢力

支那劇雑話（辻徳花）

『いぬ』の話（奥村義信）

\*雑録：支那最初の商品陳列所

\*雑録：上海英商総会

第3巻第2号（通巻第18冊）

1922年2月1日

関東州の塩に就て（1）（木村惟）

支那民国十年の内政観（中村松三郎）

支那劇雑話（二）（辻徳花）

\*政治外交：華府会議極東委員会の経過

\*政治外交：湖南省憲法の可決

\*財政金融：昨年中支那海関実収額

第3巻第3号（通巻第19冊）

1922年3月1日

孟禄博士の対支教育意見（伊藤伊八）

支那劇雑話（三）（辻聴花）

\*政治外交：混乱せる支那政局

\*政治外交：商教連合の平和運動

\*政治外交：文化主義か社会主義か

\*財政金融：交通銀行総会

\*産業貿易：昨年中の豆粕輸出数量

第3巻第4号（通巻第20冊）

1922年4月1日

大正十年大連港物資集散概況（袴田華）

支那教育界の現状（上村哲彌）

支那劇雑話（四）（辻聴花）

\*政治外交：上海国是会議停滯

\*政治外交：労働者参加運動

\*産業貿易：極東の露独通商近況

\*雑録：香港海員罷業解決

第3巻第5号（通巻第21冊）

1922年5月1日

現代支那の不安

非宗教同盟を論ず（太宰松三郎）

中国の人物：呉佩孚氏（大谷小泉）

\*内治外交：支那政局の昨今

\*運輸交通：支那の無線電信局

\*運輸交通：上海の米国無電計画

\*運輸交通：日支鉄道会議

\*運輸交通：米支航路発展

\*産業貿易：上海米国商議の活動

\*産業貿易：独逸対支事業

\*雑録：支那の人口数

\*雑録：漢口同文書院の開校

第3巻第6号（通巻第22冊）

1922年6月1日

支那統一の前途

支那の探検及地質調査（藤平田文吉）

支那の南と北（辻聴花）

中国の人物：李烈鈞氏（大谷小泉）

\*内政外交：奉直戦後の政局如何

\*内政外交：孫文氏の北伐計画

\*財政金融：満鮮金融問題

\*運輸交通：支那命令航路

## 第3巻第7号(通巻第23冊)

1922年7月1日

統一問題に絡る種々相

蒙古天然産物の産地概況(二)(佐藤義胤)

支那の南と北(辻聴花)

中国の人物:黎元洪氏(禾木生)

- \*政事外交:其後の張氏
- \*政事外交:駐支の日本兵の撤兵
- \*運輸交通:海州築港中止
- \*財政金融:支那関税改正会議
- \*産業貿易:青島還附後の製塩
- \*産業貿易:邦人漢口取引所反対
- \*雑録:留日支那留学生の苦境

## 第3巻第8号(通巻第24冊)

1922年8月1日3月8日

国民運動としての連省自治

ラッセル博士の中国国民性観(森田良一)

- \*政事外交:広東の政変
- \*政事外交:実力派連省自治提唱
- \*運輸交通:柳樹屯無線局開局
- \*運輸交通:米支汽船設立
- \*産業貿易:米人の対支商策
- \*雑録:南満医科大学生募集

## 第3巻第9号(通巻第25冊)

1922年9月1日

南北統一の気運

- \*政事外交:中国国会の分野
- \*政事外交:孫文亡命
- \*運輸交通:芝罘無線電信局開局
- \*運輸交通:英国郵便局撤廃布告
- \*運輸交通:撤廃の郵便局
- \*産業貿易:中国紡績近況
- \*雑録:上海三大罷業

## 第3巻第10号(通巻第26冊)

1922年10月1日

中国に於けるクリス教伝道と列国(飯河道雄)

支那学制の変遷(伊藤伊八)

- \*財政金融:団匪賠償金延期拒絶
- \*運輸交通:京漢粵漢両線罷業
- \*産業貿易:日支両国の実業提携

## 第3巻第11号(通巻第27冊)

1922年11月1日

- \*財政金融:対支借款団倫敦会議
- \*財政金融:支那政府中秋節切抜
- \*運輸交通:芝罘上海間海底電信
- \*産業貿易:支那綿業の発達
- \*産業貿易:米国の対支通商条例

## 第3巻第12号(通巻第28冊)

1922年12月1日

- \*政治外交:徐樹錚氏失脚す
- \*輸送交通:哈爾濱上海間穀類直通輸送
- \*輸送交通:北京の国際交通事務所
- \*郵送交通:米国無線局建設
- \*産業貿易:在支米国商議連合会
- \*産業貿易:開灤炭抗罷業拡大

## 第4巻第1号(通巻第29冊)

1923年1月1日

支那の家族制度と結婚慣習(本協会調査部)

- \*運輸交通:遼河堀割工事
- \*産業貿易:米国大観光団來連
- 民国十一年小観(太宰松三郎)
- 広東の変局

## 第4巻第2号(通巻第31冊)

1923年2月1日

中国の人物:張紹会氏(大谷小泉)

中国国会議員党派別

- \*政治外交:南北統一機運
- \*財政金融:昨年度支那海関収入
- \*運輸交通:アドミラル線増船
- \*産業貿易:昨年内地对支那貿易

## 第4巻第3号(通巻第32冊)

1923年3月1日

南満洲市場に於ける果実及蔬菜(二)(繁田正芳)

中国の人物：陳炯明(大谷小泉)

\* 運輸交通：日支連絡運賃引上

\* 運輸交通：京漢鉄道罷業

外交総長黃郛氏

第4巻第4号(通巻第33冊)

1923年4月1日

如是我觀(楊成能)

大正十一年度に於ける北滿特産物輸出概観：

浦塩、大連両港の比較(三山学人)

\* 運輸交通：支那河海々底電線

\* 運輸交通：在外支人の船会社設立計画

\* 運輸交通：芝罘上海間海電問題

\* 産業貿易：満鉄関係会社

\* 産業貿易：在支英商議の決議

中国の人物：曹錕と張作霖(大谷小泉)

支那梨園界の麒麟児：吳鉄菴の小歴史(辻武雄)

第4巻第5号(通巻第34冊)

1923年5月1日

日本の人口糧食問題と対滿蒙策：外人の目に映じたる(千葉豊治)

中国の改革と留学帰朝者(飯河道雄)

支那のホイホイ教

\* 内治外交：張内閣の辞職取止め

\* 内治外交：英国対南方政策

\* 運輸交通：支那航空会社計画

\* 産業貿易：支那全国紡機錘数

\* 産業貿易：支那輸出検査所設置

\* 産業貿易：在支商標の保護

\* 雑録：万国教育会支那代表

第4巻第6号(通巻第35冊)

1923年6月1日

中国の商売(奥村義信)

\* 政治外交：北京政局概観

\* 政治外交：広東裁兵協会の成立

\* 政治外交：露支会議開催準備

\* 運輸交通：米支合辦の失敗

第4巻第7号(通巻第36冊)

1923年7月1日

支那産桐油(福原勲雄)

\* 政事外交：中支に於ける排日

\* 財政金融：哈市に日支合辦の金融機関

\* 財政金融：米資輸入反対

\* 運輸交通：上海の大無線電話

第4巻第8号(通巻第37冊)

1923年8月1日

南洋と満洲大豆(山成豊)

\* 政治外交：支那擾乱現況

\* 政治外交：長江筋排日の現状

\* 政治外交：日本政府対支警告

\* 財政金融：西原借款利子問題

\* 産業貿易：在滿対支企業の合同

\* 産業貿易：支那卵欧洲輸出旺盛

民国秘密結社史(一)(松原梅吉)

第4巻第9号(通巻第38冊)

1923年9月1日

日支文学の交渉(細谷清)

満蒙の境界地方と日貨の排斥(山田久太郎)

\* 政治外交：治外法権撤廃尚早

\* 政治外交：在支商議大会決議

\* 産業貿易：支那蚕糸業に補助

\* 雑録：朱念組文化事業報告

\* 雑録：支那婦人職工の覚醒

\* 雑録：上海の幼年工

中国秘密結社史(承前)(松原梅吉)

第4巻第10号(通巻第39冊)

1923年10月1日

\* 政事外交：支那防穀令の暫廢

\* 財政金融：外煙特別税停止訓令

\* 産業貿易：閩東州棉花の試作

\* 産業貿易：支那石油の採掘権

\* 産業貿易：上海の化学工業展

※産業貿易：日貨排斥と我紡績業

第4巻第11号（通巻第40冊）

1923年11月1日

満蒙の文化的開発の意義（村井啓太郎）  
南満洲の地質と有用鉱物との関係（青地乙治）

中国の人物：黎元洪（読秋楼主人）

- ※政治外交：曹錕氏大總統當選
  - ※政治外交：曹新大總統の施政計画
  - ※産業貿易：支那企業界の大勢
- 満洲産蘭草に就て（本協会紹介部）  
支那に行はるゝ魔除について（黒法師）

第4巻第12号（通巻第41冊）

1923年12月1日

中国の人物：孫文（読秋楼主人）  
中国の人物：段祺瑞（読秋楼主人）  
第二華府會議の提唱

- ※政治外交：反直隸派諸勢力現状
  - ※政治外交：無電合同経営
  - ※政治外交：支那海軍現状
  - ※財政金融：道済借款内容
  - ※貿易産業：米支貿易發展
  - ※交通運輸：上海築港會議
  - ※交通運輸：米國船会社対支航路
  - ※交通運輸：支那の飛行郵送計画
- 特産物と錢鈔取引（本協会紹介部）  
北満洲の經濟的価値（大藏公望）

第5巻第1号（通巻第42冊）

1924年1月1日

満蒙鮮と支那本部との関係（稲葉君山）

中国の人物：盧永祥（読秋楼主人）  
洮南の現況（承前）（村田熊三）  
支那文房具研究の趣味（後藤朝太郎）  
支那の薬と本草（中尾萬三）  
支那芝居のいろ／＼（辻聴花）  
ねずみの話（奥村義信）

第5巻第2号（通巻第43冊）

1924年2月1日

満蒙觀（九）（高柳保太郎）  
満蒙鮮と支那本部との関係（稲葉君山）  
中国の人物：呉景濂（読秋楼主人）  
中国の人物：陳炯明（読秋楼主人）  
満蒙事情研究会と上海視察旅行  
※政治外交：南支各省政情  
※政治外交：孫子不評の原因  
※政治外交：孫氏の関稅差押計画  
※産業貿易：支那の製糸業  
※産業貿易：昨年度支那綿産概況  
※交通運輸：広東自由港計画  
満蒙に於ける支那人向商品と意匠との関係（本協会紹介部）

第5巻第3号（通巻第44冊）

1924年3月1日

満蒙觀（十）（高柳保太郎）  
華府會議以後に於る支那関稅諸問題と我対支貿易の将来（宮脇賢之介）  
支那思想と宗教（橘樸）  
中国の人物：張謇（読秋楼主人）  
中国の人物：孫宝琦（読秋楼主人）  
在満華商実業団の日本視察計画  
※政治外交：孫文氏声望失墜  
※財政金融：在支米國銀行  
※産業貿易：英米煙の大連進出  
最近の中国婦女問題の一面觀（板橋辨治）  
支那文人の愛硯趣味（後藤朝太郎）  
麻雀の大流行

第5巻第4号（通巻第45冊）

1924年4月1日

貿易上に於ける大連港の存在意義と価値（大倉一郎）  
混沌たる中国の現状（秋山生）  
国立北京大学の近況（居燕）  
中国の人物：徐樹錚（読秋楼主人）  
中国の人物：葉恭綽（読秋楼主人）  
※政治外交：巡閱使會議の議題

※金融財政：在支英商連合会  
南支の春を訪ねて（熊耳生）  
南支那へ（俳句）（観狭空）

第5巻第5号（通巻第46冊）

1924年5月1日

支那及び満洲朝鮮と日本との関係（1）（稲葉君山）

日支共同の使命と其实現策（内堀維文）

民国女子の教育に就て（安藤基平）

※政治外交：在支日本領事官現在

※政治外交：在支外人保護問題

※財政金融：支那銀行公会連合会

※産業貿易：支那紡績窮状挽回策

※産業貿易：昨年度支那対米輸出

支那に行はるゝ魔除について（黒法師）

旅大感じのまゝ（荒井陸男）

第5巻第6号（通巻第47冊）

1924年6月1日

中華民国の現実を直視して共榮の彼岸へ（宮脇賢之介）

支那及び満洲朝鮮と日本との関係（2）（稲葉君山）

中国の人物：陳独秀（読秋楼主人）

中国の人物：胡適之（読秋楼主人）

支那商標法（渡邊生）

※産業貿易：鉱業銀行組織

※産業貿易：支那生糸米国輸出

東三省に於ける中国側銀行の内容…奉天票

の将来…標金と鈔票相場の採算法…銀に

関する著書紹介（本協会編輯部）

上海の俚諺（清水）

支那に行はるゝ魔除について（黒法師）

北満洲の情景（山中春塘）

第5巻第7号（通巻第48冊）

1924年7月1日

欧米人に正義ありや（津田元徳）

支那及び満洲朝鮮と日本との関係（3）（稲

葉君山）

支那の社会教育（上村哲彌（訳）

中国の人物：唐繼堯（読秋楼主人）

中国の人物：齊燮元（読秋楼主人）

南北支那の考古学的観察（其一）（八木柴三郎）

第5巻第8号（通巻第49冊）

1924年8月1日

中国政党の過去及現在（高一涵）

支那の学徒制度（田中忠夫）

中国の人物：朱慶瀾（読秋楼主人）

中国の人物：閻錫山（読秋楼主人）

※財政金融：支那各銀行の紙幣

※産業貿易：支那紡績業の窮況

支那風呂（奥村義信）

第5巻第9号（通巻第50冊）

1924年9月1日

中国政党の過去及現在（高一涵）

『山奈』『艾蒿』の成分に就て（中尾万三／  
洪江忠三）

※貿易産業：支那の巻煙草消費額

※貿易産業：支那商品対米輸出高

中国の人物：吳昌碩（読秋楼主人）

南北支那の考古学的観察（其三）（八木柴三郎）

支那廬山仙境の印象 後藤朝太郎

第5巻第10号（通巻第51冊）

1924年10月1日

支那時局私観（大矢信彦）

支那の運送業に就て

中国の人物：張謇（読秋楼主人）

中国の人物：梁士詒（読秋楼主人）

※政治外交：支那大動乱の経過

※財政金融：支那経済界の動揺

※貿易産業：満洲市場と砂糖

南北支那の考古学的観察（其四）（八木柴三郎）

支那廬山仙境の印象（2）（後藤朝太郎）  
 民国人の飲食料品（中川兵三郎）

第5巻第11号（通巻第52冊）

1924年11月1日

支那民衆の進路と明日の政治（大矢信彦）  
 「袁世凱」新幣に就ての考察（佐竹義繼）  
 支那に於ける職業教育（生田美記）  
 中国の人物：王正廷（読秋楼主人）  
 満洲保険事業の趨勢と其政策（1）（山中  
 岩次郎）  
 ※政治外交：盧永祥氏敗北亡命  
 ※交通運輸：支那動乱と海運界  
 北京武英殿の陶磁：其一 紅色或は綠色を  
 呈する銅釉の部（中尾万三）

第5巻第12号（通巻第53冊）

1924年12月1日

来るべき支那関稅会議（宮脇賢之介）  
 支那に於ける平民教育運動（生田美記）  
 中国の人物：馮玉祥（読秋楼主人）  
 中国の人物：黃郛（読秋楼主人）  
 ※政治外交：奉直戰大団円  
 南北支那の考古学的觀察（其六）（八木柴三  
 郎）

第6巻第1号（通巻第55冊）

1925年1月1日

支那に於ける女子教育（兪慶棠）  
 支那の婦人運動に就て（三浦義臣）  
 中国の家族制度と其革新運動（板橋辨治）  
 支那古代の飲食物（中尾万三）  
 食糧から觀た支那人の生活（一記者）  
 女性讚美と纏足（奥村義信）  
 麻雀の起原とその競技法（長尾正之）  
 奉天女青年会の話（埜島経太）

第6巻第3号（通巻第57冊）

1925年2月1日

南面五千年の支那史變革記（佐藤四郎）  
 支那に於ける女子教育（二）（兪慶棠）

支那労働界の考察（衛藤隣三）  
 明末清初に於ける中国思想界と其代表人物  
 （中山四川 訳）  
 台湾料理の献立  
 台湾の子守うた

第6巻第4号（通巻第58冊）

1925年3月1日

孫文氏と其革命思想（佐藤四郎）  
 硯に就いて（その二）（飯島茂）  
 欧陽予倩君の劇  
 中国劇梗概：紅鸞禧（石川洗塵）

第6巻第5号（通巻第59冊）

1925年4月1日

満洲大豆と支那本土の需給関係（佐藤義胤）  
 支那古代の食糧問題と民族性（三浦義臣）  
 上海紡績罷業争議の考察（佐藤四郎）  
 硯に就いて（その三）（飯島茂）

第6巻第6号（通巻第60冊）

1925年5月1日

辜翁（鴻翁）を送る（鄭愛）  
 硯に就いて（その四）（飯島茂）  
 民謡の中から支那を覗く（松本二郎）

第6巻第8号（通巻第62冊）

1925年6月1日

支那の文芸革命（生田美記）  
 硯に就いて（その五）（飯島茂）  
 南支那飛脚往来（竹本吉二）  
 江南の印象（O）

第6巻第9号（通巻第63冊）

1925年7月1日

支那の文芸革命（承前）（生田美記）  
 上海事件の考察と新時代に入らんとする支  
 那の國際関係（佐藤四郎）  
 満洲に於ける学生の罷課（佐藤四郎）  
 支那芝居樂屋風呂（聴花生）



第6巻第10号(通巻第64冊)  
1925年8月1日  
支那の農民団体に就て(田中忠夫)  
満洲に於ける綿絲紡績工業(遠藤宗六)

第6巻第11号(通巻第65冊)  
1925年9月1日  
寒地農業資源開発論:日本の海外発展と満  
蒙東露の真価(千葉豊治)

北京名建考(岡山源六)  
支那の新聞に就て(後藤東海)  
満洲家蚕業の将来(湯川秀夫)  
奉天主義の安全第一(佐藤四郎)

第6巻第12号(通巻第66冊)  
1925年10月1日  
門戸開放政策の今昔観(田中定吉訳)  
関税特別会議是非(佐藤四郎)  
上海の人と影(大野斯文)

第6巻第13号(通巻第67冊)  
1925年11月1日  
寒地農業資源開発論(其三):日本の食糧問  
題と極東北部大陸の開発(千葉豊治)  
東三省は赤化するか(佐藤四郎)  
江浙対峙とその影響(佐藤四郎)  
続上海の人と影(大野斯文)  
支那芝居楽屋風呂(三)(聴花生)

第6巻第14号(通巻第68冊)  
1925年12月1日  
支那側より見たる関税問題(馬寅初)  
十字路に立つ満洲経済界(渡邊巖)  
和平, 和平, 和平(佐藤四郎)  
南守攻北の急先鋒(佐藤四郎)  
いはゆる赤い魔手(佐藤四郎)  
支那劇の二簧に就いて(欧陽予倩)

第7巻第1号(通巻第69冊)  
1926年1月1日  
民族起源の諸伝説(八木契三郎)

支那人会社観の一断面(東関十)  
支那迷信百題(李文権)  
支那芝居と臉譜其他(若柳柳湖)  
支那芝居楽屋風呂(四)(聴花生)  
支那児童から聴いた伝説:(2)杜鵑(青  
戸生)  
支那児童から聴いた伝説:(4)蚕(青戸  
生)

第7巻第2号(通巻第70冊)  
1926年2月1日  
郭松齡の東三省改革観(佐藤四郎)  
張郭動乱より観たる満蒙の特殊地位に関す  
る考察(川合正勝)  
東三省の過去及将来(李文権)  
郭松齡の叛乱と今後の東三省(鉄仮面)  
大連:新春の大連鎖鈔市場(本協会調査)  
大連:奉郭動乱以来の奉天票(本協会調査)  
支那学校商売往来(多史分)

第7巻第3号(通巻第71冊)  
1926年3月1日  
帝国議会与満蒙問題(佐藤四郎)  
中国歴史上の内戦と時局の将来(張君勳)  
支那時局の推移(羽阜生)  
奉天:反ソビエツト運動群起(本協会調査)  
天津:国民党的近状(本協会調査)  
江南情緒(燕居山人)

第7巻第4号(通巻第72冊)  
1926年4月1日  
奉天票に就て(都甲文雄)  
奉天省長王永江の辞職(鉄仮面)  
大連:大連海運界の多事(本協会調査)

第7巻第5号(通巻第73冊)  
1926年5月1日  
支那の社会階級に就て(橘樸)  
中国歴史上の内戦と時局の将来(二)(張君  
勳)  
大連:大連に於けるセメントの輸出入状態

(本協会調査)

大連：満洲に於る新設事業 (本協会調査)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録：日本の朝飯  
 と支那の点心 (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録：湯崗子温泉  
 に浸りて (宇澄楼)

第7巻第6号 (通巻第74冊)

1926年6月1日

北京：眼中、国家民人なし (本協会調査)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (二)：鳥国根  
 性を表はす町の名 (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (二)：悪性な  
 る麻雀の流行 (宇澄楼)

第7巻第7号 (通巻第75冊)

1926年7月1日

支那の運命 (下村通郷)  
 支那農村の人口抱擁力 (橘樸)  
 哈爾賓：北支の政情 (本協会調査)  
 北京：混沌たる北京政局 (本協会調査)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (三)：草鞋ば  
 きの洗濯屋のおかみさん (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (三)：日本婦  
 人のキモノ改善と華装 (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (三)：大連の  
 公園と北京式茶館 (宇澄楼)

第7巻第8号 (通巻第76冊)

1926年8月1日

華人K氏の満洲印象記滌沫録 (四)：プロ娯  
 楽場として親た西崗子露天市場 (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (四) 車夫と  
 のいさかひから親た日本人 (宇澄楼)

第7巻第9号 (通巻第77冊)

1926年9月1日

満洲在来棉の品質と其紡績価値 (堀尾省三)  
 日本及支那に使用せらるゝ淡水魚の漢字名  
 に就て (森為三)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (五)：ヴィク

トリアと三好野 (宇澄楼)

第7巻第10号 (通巻第78冊)

1926年10月1日

内地人口問題解決策と満洲の工業 (大蔵公  
 望)  
 関東州内の三大蚕糸業 (湯川秀夫)

第7巻第11号 (通巻第79冊)

1926年11月1日

支那司法状態研究資料大理院判決例 (四)  
 東省特別区域裁判所の扱へる朝鮮銀行対  
 露人繫争事件 (川村宗嗣)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (六)：めくら  
 減法な日本の対支輸出貿易品 (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (六)：満鉄下  
 級社員支那語研究者の哀話 (宇澄楼)

第7巻第12号 (通巻第80冊)

1926年12月1日

雪 (江蘇民謡)  
 支那労働運動と南満洲 (橘樸)  
 大連：銀価の反響に就て (本協会調査)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (七)：いやな  
 赤煉瓦の奉天 (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (七)：親しみ  
 のなき在満日支兒童 (宇澄楼)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (七) 家居の  
 暁と劇場のウスベリ (宇澄楼)

第8巻第1号 (通巻第81冊)

1927年1月1日

中国の国民党と共産党 (橘樸)  
 満洲に於ける労働者運動の趨勢 (中澤博則)  
 支那軍閥の崩壊作用 (佐藤四郎)  
 奉天軍閥の勢力消長観 (園田一亀)

第8巻第2号 (通巻第82冊)

1927年2月1日

英国の対支新提案に就て (羽皇生)  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録 (八)：支那人

の魚屋の述懐（宇澄楼）  
 華人K氏の満洲印象記滌沫録（八）：浪速町  
 といふ大連一の街（宇澄楼）  
 英支関係論（中濱義久）

第8巻第3号（通巻第83冊）

1927年3月1日

支那の現政局（淮汀）  
 南支那の旅から（朴庵）

第8巻第4号（通巻第84冊）

1927年4月1日

広東国民党の由来とその目的（張維周）  
 支那の現政局（淮汀）  
 支那の家族神に就いて（橘樸）  
 支那民族雑話：喜帕（黒臉児）

第8巻第5号（通巻第85冊）

1927年5月1日

からす（江西童話）  
 上海の一青帮首領に与ふる書（橘樸）  
 支那の打倒帝国主義を検す（山田武吉）  
 支那の現政局（淮汀）  
 支那茶の話（突永一枝）  
 支那民族雑話（二）：難産に関する迷信（黒  
 臉児）

第8巻第6号（通巻第86冊）

1927年6月1日

おなががすいた（江蘇童謡）  
 支那国家主義論（邱春）  
 マルクス主義と中国の共産党（馬寅初）  
 在満邦人の支那及満洲論策批判（朴庵）  
 支那の現政局（淮汀）  
 棉花及棉花事業（今井俊彦）  
 支那の民謡（J M生）

第8巻第7号（通巻第87冊）

1927年7月1日

左翼国民党の方向転換（橘樸）  
 満蒙問題に対する主張（山田武吉）

北満洲開拓の一異相（米山三太郎）  
 支那の現政局（淮汀）  
 満清の肇祖とその血統（中島勝次）  
 天津（渡邊三角洲）

第8巻第8号（通巻第88冊）

1927年8月1日

中国共産党の新理論（橘樸）  
 青天白日旗下の山西（太原要）  
 支那の現政局（淮汀）  
 支那水国史観（乗化庵）  
 西湖を憶ふ（多史分）

第8巻第9号（通巻第89冊）

1927年9月1日

国民党の再分裂（橘樸）  
 上海に於ける不富課税問題（中濱義久）  
 支那文学の現在と将来（山口慎一）  
 支那の現政局（淮汀）  
 留日中華学生の観た日本（師尾源蔵）  
 蒋介石との会見を憶ふ（太原生）

第8巻第10号（通巻第90冊）

1927年10月1日

国民革命軍部内に於ける軍閥の勢力（橘樸）  
 支那陶磁器の根本研究（其四）（八木柴三  
 郎）  
 支那の現政局（淮汀）  
 上海に於ける新百万弗摩天楼（東吉訶）

第8巻第11号（通巻第91冊）

1927年11月1日

満洲に於ける労働問題に関する一研究（川  
 合正勝）  
 蒋介石政権の解剖：所謂新軍閥の発生と其  
 意義（橘樸）  
 赤化を招いた党化教育（太原要）  
 支那の現政局（淮汀）  
 支那陶磁器の根本研究（其五）（八木柴三  
 郎）

- 第8巻第12号(通巻第92冊)  
1927年12月1日  
支那改造と日本：蒋介石氏の東京声明を読む  
みて(橘樸)  
山西の蹶起するまで：原因と検討と結果の  
批判(太原要)  
大連銀市場変遷の跡を回顧して(木下修一)  
満鉄の上海向送金方法と社内為替に就て(南  
郷龍音)  
清の四王と其の遺跡(下)(島田好)  
兔に関する南支那小話集(ミタン)
- 第9巻第1号(通巻第93冊)  
1928年1月1日  
共産党失敗の二大因由(橘樸)  
支那現代思潮に現はれた大同主義(奥村義  
信)  
孫文主義の哲学的基礎(戴季陶)  
支那の新文化運動の帰趨に就いて(柴田驍)  
支那の現政局(淮汀)  
支那革命の将来(ポール・ブランチャード)  
南支の労働状態と賃銀(アール・ブラウダ)  
支那映画界の現状(山口愼一)
- 第9巻第2号(通巻第94冊)  
1928年2月1日  
南支那暴動の理論と実際(橘樸)  
南方の小作農保護に就て(田中忠夫)  
財政と金融の科学的観察(馬寅初)  
中国国民党の財政策に就て(大塚令三)  
支那の現政局(淮汀)  
支那に於ける鉱業の実際(フォスター・ペー  
ン)  
南画雑考(大野斯文)
- 第9巻第3号(通巻第95冊)  
1928年3月1日  
中国共産党と労農政権(橘樸)  
支那の新文化運動の帰趨に就いて(柴田驍)  
支那の現政局(淮汀)
- 支那の怪蛇(アルツウル・ホリツチエル)
- 第9巻第4号(通巻第96冊)  
1928年4月1日  
支那農村の階級構成(橘樸)  
支那の農村組織に就て(田中忠夫)  
支那の蛇類を蒐めに(クリツフオード・ポー  
プ)
- 第9巻第5号(通巻第97冊)  
1928年5月1日  
満蒙の鉄道問題と日本利権の推移(古市長  
夫)  
支那鉄道系の現在及将来(小島憲)  
鉄道と政略の活舞台『満洲』(本協会編集部  
訳)  
動く支那の諸相：軍費と阿片奨励(M・A  
生)  
抗争(一幕劇) 鄭伯奇作(大内隆雄訳)  
変な夢(柴田天馬)
- 第9巻第6号(通巻第98冊)  
1928年6月1日  
軍閥の歴史的任務と其消滅過程：支那農村  
『破壊者』に関する考察の一(橘樸)  
中国文学の地方的背景(朱種因)  
渤海湾を周る古代の民族(其一)(八木契三  
郎)  
支那に於ける労働運動の事実と要因(エリノー  
ル・ヒンダー)  
史学家から観たる現代支那(ジョージ・ブ  
レークスリー)  
満鮮支に於ける亜鉛引平板浪板(高山伝三  
郎)  
鯨を見に海洋島へ行く(中溝新一)  
大連図書館より(6)(柿沼生)  
創作：呉大少爺(向愼然)
- 第9巻第7号(通巻第99冊)  
1928年7月1日  
帝国主義と農民経済：支那農村『破壊者』

に関する考察の二（橋樸）  
 清代漢学家の真精神（張国人）  
 中国の農民教育問題（楊効春）  
 対支政策私観（浸峯生）  
 渤海湾を周る古代の民族（其二）（八木柴三郎）  
 四庫全書に就いて（松崎鶴雄）  
 農業と支那の将来（オー・イー・ペーカー）  
 大連図書館より（7）（柿沼生）

第9巻第8号（通巻第100冊）

1928年8月1日

北滿に於ける外国勢力の消長（三田了一）  
 北滿に於ける小麦（本協会編集部）  
 附録：国際的に見たる我国の満蒙に於ける特殊地位（阿比留乾二）

第9巻第9号（通巻第101冊）

1928年9月1日

中国共産党の退却（橋樸）  
 満洲民族とその言語（渡邊薫太郎）  
 四庫全書座談会（陳援庵）  
 欧羅巴に於ける東洋趣味（樂艸堂主人）  
 支那建築雑話（伊藤清造）  
 支那の工業界（オーペリング）  
 昔の虎公園（上田恭輔）  
 大連図書館より（8）（柿沼生）  
 家掌寺栄華物語（二）（水上貴）

第9巻第10号（通巻第102冊）

1928年10月1日

東洋水産界に於ける大連港の位置（松丸孝三郎）  
 渤海湾を周る古代の民族（其三）（八木柴三郎）  
 満洲から内地へ電報の所要時間  
 満洲に於ける支那労働者（一）（武居郷一）  
 支那国歌「卿雲歌」を評す（王光祈）  
 赤い渤海の入り日（前田政次郎）  
 芝罘を觀る（久保田駒治）

崑曲に就いて（巖徹生）  
 家掌寺栄華物語（三）（水上貴）  
 翻訳：閻魔王代理（柴田天馬）

第9巻第11号（通巻第103冊）

1928年11月1日

支那最近の国際関係（中濱義久）  
 中国共産党の退却（橋樸）  
 濟南城の守護神（中野江漢）  
 支那の軍艦（E S 生）  
 満洲に於ける支那労働者（二）（武居郷一）  
 烽火台と路台（中）（島田好）  
 路上風物抄四：大連の俥と馬車（大野斯文）  
 上海文壇交遊記（山口慎一）  
 崑曲と韓世昌の演劇（批評） 崑曲の進出（王小純）  
 崑曲と韓世昌の演劇（批評） 第一印象（井田澁三）

第9巻第12号（通巻第104冊）

1928年12月1日

国民革命に対する怨声：中国国家主義青年団の中国国民党に致す書（富久井喬木）  
 支那最近の国際関係（二）（中濱義久）  
 中国共産党の退却（二）（橋樸）  
 中国最近の二要題（巖徹生）  
 大阪商船の大連航路の發達の跡を回顧して（上田恭輔）  
 上海文壇交遊記（二）（山口慎一）  
 支那小話集（竹素介）

第10巻第1号（通巻第105冊）

1929年1月1日

支那婦人の環境及問題（橋樸）  
 近代中国女子教育思想の変遷（舒新城）  
 中国婦人雜観（安藤基平）  
 法律上より觀たる支那の許嫁（川村宗嗣）  
 公民としての中国婦女の地位（奥村義信）  
 離婚図絵（南文吾）  
 婚姻問題私見（戚維翰）

民国女性の将来（張志奇）

「支那の女」漫談：劇に現れたる女の種々相  
（巖徹生）

風塵異香：忠妓：瓊枝（共田浩）

風塵異香：貞妓：小三（共田浩）

風塵異香：俠妓：蝶翠（共田浩）

風塵異香：詩妓：武昌妓（共田浩）

她們・展望（大内隆雄）

大連物語阿片窟（中村無六）

第10巻第2号（通巻第106冊）

1929年2月1日

東三省の民衆運動と党化教科（太原要）

教育上より観たる国民政府と排日（宝城）

対日問題に就て中国教育界に告ぐ（劉仲平）

近代中国女子教育思想の変遷（釵新城）

馬賊の群に交りて

四庫全書の刊行（一記者）

第10巻第3号（通巻第107冊）

1929年3月1日

近代中国女子教育思想の変遷（舒新城）

中国共産党の討論大会（X Y Z）

南支蛮族の歌謡とその生活（狂齋華士）

第10巻第4号（通巻第108冊）

1929年4月1日

支那農民の離村に就て（田中忠夫）

中国の図書館事業（柿沼介）

土匪と紅槍会に接するの記（一）（狂齋華士）

小河沿公園にて（か・たはら生）

第10巻第5号（通巻第109冊）

1929年5月1日

北満経済界の将来（渡邊三角形）

支那農民の離村に就て（二）（田中忠夫）

大観小察：国民党全国代表大会了る（不爾曉生）

大観小察：上海の和平運動（不爾曉生）

大観小察：武漢討伐（不爾曉生）

五月と民国の不祥事（小林胖生）

民衆芸術としての灘簧（山口慎一）

岳陽樓に纏はる伝説（牧豎生）

第10巻第6号（通巻第110冊）

1929年6月1日

中国に於ける農民問題（公孫愈之）

支那に於ける奴婢の發生と其没落（曉鶯女士）

大観小察：山東撤兵延期（不爾曉生）

大観小察：反日会の満洲入り（不爾曉生）

満洲に於ける日露の接近（ハレット・アーベント）

中国に於ける印刷術の沿革（二）（賀聖鼐）

孫中山氏の移靈式（一記者）

土匪と紅槍会に接するの記（三）（狂齋華士）

仏教国としての西藏（格桑澤仁）

怪し気な支那語の御利益（岩井勘六）

免許海賊商売（丘襄二）

支那の新文学街逍遙（山口慎一）

第10巻第7号（通巻第111冊）

1929年7月1日

旅順口の沿革と旅順城の位置（上）（島田好）

支那怪奇譚：人面瘡（青戸生）

学界に惜まれた王静安の死（巨心生）

漢口の花鼓戲（欧陽予倩）

支那劇の武劇と武生（大谷守一）

中日文化資料展を見る（竹犬生）

第10巻第8号（通巻第112冊）

1929年8月1日

左翼国民党の政治的立場（橘樸）

支那小作制の苛例に就て：農村封建社会の側面観（田中忠夫）

大観小察：中央執行委員会全体会議（不爾曉生）

支那音楽と日本音楽との関係（欧陽予倩）

民謡に現はれた支那の婦人（無名子）  
支那の新小説二三（山口慎一）

第10巻第9号（通巻第113冊）

1929年9月1日

資産階級覇権下の国民党（橘樸）  
支那に於ける農業経済の崩壊（安原庫治）  
支那小作制の苛例に就て（2）：農村封建  
社会の側面観（田中忠夫）  
撫順出土定盗考（小村俊夫）  
中秋節と南支那の風習（狂齋華士）

第10巻第10号（通巻第114冊）

1929年10月1日

上海資本家階級の静態的考察（橘樸）  
支那劇近況その他（巖徹生）  
神父アンドレア（ピアール・エス・バツク）

第10巻第11号（通巻第115冊）

1929年11月1日

上海資本家階級の動態的考察（橘樸）  
大観小察：反蔣の烽火（不爾曉生）

第10巻第12号（通巻第116冊）

1929年12月1日

支那に於ける軍閥戦争の展望：如何なる勢  
力が之を終結し得るか（橘樸）  
支那土地制度の性質に就て：支那封建社会  
史の一節（陶希聖）

第11巻第1号（通巻第117冊）

1930年1月1日

太平洋会議と松岡洋右君（上田恭輔）  
支那側記念日に就て（荷葉村）  
シナリオ・上海：これは実写映画のうへに  
動く上海を映す為の材料（山内耀）  
支那の薬屋（島田源太郎）

第11巻第2号（通巻第118冊）

1930年2月1日

大商人と小商人：上海に於ける総商会と商  
民協会との対立（橘樸）

当舗夜話（2）（乗化庵主人）  
支那の新戯曲数篇（山内耀）

第11巻第3号（通巻第119冊）

1930年3月1日

北支那覇権の成立過程（橘樸）  
支那の水利経済と民族的統一（田中忠夫）  
清朝の素三彩陶（山口松次郎）

第11巻第5号（通巻第121冊）

1930年5月1日

支那に於ける封建制度の消滅（方岳）  
中国農村経済界の黎明期（朱佩我）  
反蔣派の旗上げ  
蔣派の防禦戦備  
党内各派の紛糾  
読書人の住宅（伊藤清造）  
劇人の思ひ出（欧陽予倩）

第11巻第6号（通巻第122冊）

1930年6月1日

革命支那の進展と包捐制度の矛盾（嘉村満  
雄）  
旧直隸派の抬頭  
南北両港の建設  
支那の職業婦人と語る：姫姆式傭婦・遊廓  
の傭婦・洗濯婆さん・縫窮的・巫女（金  
銀生）  
劇人の思ひ出：承前（欧陽予倩）

第11巻第7号（通巻第123冊）

1930年7月1日

ケメラ博士の幣制改革案（井上薫雄）  
最近の支那政治地理の変遷（陸為震）  
南軍不利に陥る  
張桂軍長沙占領  
蔣奉天にすがる  
党務依然未解決  
各国租界の回収  
関税協定と謠言  
支那に於ける阿片使用の起源（守中清）

革命支那の横町風景（石敢当）

第11巻第8号（通巻第124冊）

1930年8月1日

支那に於ける封建制度の消滅（承前）（方岳）

天津海関乗取り

王家楨南京引揚

反蔣軍益々優勢

拡大会議の成立

生き馬の眼を抜く話（石敢当）

中国摩登文化粧（櫻井周）

支那文学革命と我等のイデオロギー（郭沫若）

第11巻第9号（通巻第125冊）

1930年9月1日

大連を中心とする航空路に就て（若竹又男）

第11巻第10号（通巻第126冊）

1930年10月1日

満洲のクローズアップ（チャージ・エス・ジョンズ）

支那軍閥混戦の社会的基礎（呉黎平）

長沙赤車の蜂起とその展望（大塚令三）

支那青年の悩み（富久井生）

思ひ出るまゝの記：ヘボン博士と満鉄（上田恭輔）

中華の名称と夷狄攷（中島勝次）

上海競犬場物語（佐田珂平）

犬を駆けさす跑狗雑聞（増田三治）

巷談エロ地獄（石敢当）

満洲談語（ぶたを）

第11巻第11号（通巻第127冊）

1930年11月1日

中継貿易より見たる大連港と上海港及其の将来（夷石隆壽）

重税政策と社会生産との因果関係（昨非）

施存統氏の左傾：滬上交友録、その一（大塚令三）

匍雅堂窯の研究（二）（小村俊夫）

支那ポスター談議（三枝占太郎）

西江を遡る：嶺南雑記帳から（西尾礼）

中国新興プロレタリア文芸運動の展望（大高巖）

第11巻第12号（通巻第128冊）

1930年12月1日

新興支那の経済的諸情勢（井村薫雄）

重税政策と社会生産との因果関係（2）（昨非）

朝鮮人の思想運動と在満朝鮮人の共産主義（金三民）

支那農業の電化に就て（田中忠夫）

支那犬ものがたり（高山卓士）

中国新興プロレタリア文芸運動の展望（2）（大高巖）

第12巻第1号（通巻第129冊）

1931年1月1日

新春に直面して中国の将来を画す（武田南陽）

民国二十年の内政と外交（船橋半山楼）

銀を素材とする中国の産業開発（井村薫雄）

我国の結核撲滅策と其の財源（遠藤繁清）

安倍源基氏著「国民党と支那革命」（小林英一乗）

魯迅とその時代（大内隆雄）

附録：李明の“支那記”：奉天図書館名書解題其四（衛藤利夫）

第12巻第2号（通巻第130冊）

1931年2月1日

中国に於けるソウエート政権の将来：李立三氏の失脚と中国共産党方略の改変（大塚令三）

日支将来の外交問題（船橋半山楼）

中国建築の研究（伊藤忠太）

将来ある中国航空界（神田栄一）

黄金外道（石敢当）



第12巻第3号（通巻第131冊）

1931年3月1日

赤軍運動の指導原理：中国に於ける赤軍の現勢とその将来（本郷三郎）  
理論と現実とに悩む東北政団：張学良氏帰奉後に於ける北支東北の局勢種々相（船橋半山楼）  
中国歴史上に於ける二大暴動（2）（鄭景）  
施存統氏の近訊：滬上交友録，その一余録（大塚令三）  
旧都雑俎（1）（辻聴花）

中国鴉片公売の説（宮脇賢之介）  
中国外国借款に関する一考察（2）（中濱義久）  
国民政府と借款問題（浅野虎三郎）  
赤軍運動の再展望（本郷三郎）  
ソウエート中国の発展過程（2）（田中忠夫）  
新興中国の教育概要とその特質（二）：国民政府の教育行政方針と内容（濱田峰太郎）  
旧都雑俎（4）（辻聴花）  
中国考現学断片：広告を通じて見た上海の社会相：映画演劇の広告が最も多く医院医師は花柳病菌を蒔く（熊田登志）  
ある上海の断面（中條辰夫）  
時代の作家郁達夫：中国現代作家評論（2）（大内隆雄）

第12巻第4号（通巻第132冊）

1931年4月1日

奮へ幣原！努めよ重光！！  
ソウエート中国の発展過程（田中忠夫）  
中国の航行権と水路交通に就て（井村薫雄）  
胡漢民氏監禁事件に就ての検討（船橋半山楼）  
中国の失業問題に関する一考察：中国共産党の失業反対闘争運動に対する批判（本郷三郎）  
西行艶異記（陳重生）

第12巻第7号（通巻第135冊）  
1931年7月1日  
新中国の六年計画（井村薫雄）  
赤軍運動の再展望（二）（本郷三郎）  
ソウエート中国の発展過程（3）（田中忠夫）  
華僑の満蒙転向（林君彦）  
二つの新しいレポ文学作品（岩夫生）

第12巻第5号（通巻第133冊）

1931年5月1日

中国外国借款に関する一考察（中濱義久）  
中国の航行権と水路交通に就て（二）（井村薫雄）  
新興中国の教育概要とその特質（濱田峰太郎）  
中国に於ける反動思想の危機（ミフ）  
馮玉祥氏会見記：滬上交友録，その二（大塚令三）  
中国美術運動の展望（許幸之）  
恋愛小説家張資平：中国現代作家評論（1）（大内隆雄）

第12巻第8号（通巻第136冊）  
1931年8月1日  
新中国の六年計画（2）（井村薫雄）  
中国の経済及びその復興問題（陶希聖）  
工廠法の施行と中国工場の実状（大塚於菟次郎）  
北平留学拾聞（道満三郎）  
詩人の跳舞一田漢に就て：中国作家評伝（3）の1（大内隆雄）  
附録：清朝学者と地理上の分布（植野武雄）

第12巻第6号（通巻第134冊）

1931年6月1日

第12巻第9号（通巻第137冊）  
1931年9月1日  
向忠発の死と八一闘争：赤色五月闘争以後

に於ける中国共産党（本郷三郎）  
中国の経済及びその復興問題（2）（陶希聖）  
中国に於ける工業所有権に就て（中村如峯）  
諺謡に表現された中国の平民思想（山縣満洲男）  
曲肱読余（南文吾）  
嗚呼老優孫菊仙（辻聴花）  
南方土俗片々（艸青糸）  
中国プロ文学運動の史的考察（大高巖）  
詩人の跳舞：田漢に就て：中国作家評伝  
（3）の2（大内隆雄）

（以上）